

# 第7回大学・社会を考える講演会 日本学術会議の独立性を否定する 「改革」問題と市民 —民主主義の仕組みの再構築に向けて—

日時:2023年12月3日(日)

14時~16時15分(予定) (13時30分開場)

会場:北海道大学学術交流会館 1F 小講堂  
(札幌市北区北8条西5丁目)

参加費・資料費:1000円(大学生(院生を含む)、高校生以下は無料)

予約制:先着150人

参加申し込み:受付フォーム(下記のURLまたはQRコードからアクセスいただき、氏名(ふりがな)、メールアドレス、所属(任意)、講師へのご質問内容を記入のうえお申し込みください。)

Google フォーム短縮 URL <https://x.gd/x604d>



講師:高山 佳奈子さん 京都大学大学院法学研究科教授(刑事法学)

## 講師のプロフィール

1968年東京生まれ。東京大学法学部卒、同大学院法学政治学研究科修士課程修了。同助手、成城大学専任講師、アレクサンダー・フォン・フンボルト財団奨学研究員(ケルン大学)、京都大学大学院法学研究科助教授などを経て2005年より同教授。専門は刑事法学。

## おもな著書

著書(和文)に『たのしい刑法』(共著、1998~、弘文堂)、『故意の構造』(1999、有斐閣)、『共謀罪の何が問題か』(2017、岩波ブックレット)、『グローバル化と法の変容』(共著、2018、日本評論社)など。  
経済産業省産業構造審議会、文部科学省科学技術・学術審議会、厚生労働省厚生科学審議会などの専門委員を経験。2017年10月から2023年9月まで日本学術会議会員。「安全保障関連法に反対する学者の会」呼びかけ人。



メッセージ(要請予定):日本学術会議、日本学術会議北海道地区会議

主催:北海道の大学・高専関係者有志アピールの会(集团的自衛権の行使を容認する閣議決定に反対する北海道の大学・高専関係者有志アピール運動をすすめる会)

《お問い合わせ》 [lecture.peace.hokkaido@gmail.com](mailto:lecture.peace.hokkaido@gmail.com)

## 講演のポイント、メッセージ

日本学術会議は、戦争を放棄し学問の自由を初めて保障した日本国憲法に基づき、「科学が文化国家の基礎であるという確信に立つて、科学者の総意の下に、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命とし」て1949年に設立されました。

2020年10月以降、法律に違反して、総理大臣が会員候補者6名を任命しない問題が起きています。現在、その違法性を示す文書の開示を求める行政手続が進行中です。ところが、政府はこの問題をうやむやにしたまま、今の学術会議を実質的に廃止する法改正を進めています。これが実現すれば、日本は独立のナショナル・アカデミーが存在しない国になります。

科学は「武器商人」を始めとする特定の者の利権に資するために存在するものではありません。国際社会や国の政策を決定するときに、科学者が各自の専門知識を提供し、それらをふまえた熟議を経ることによって、民主主義が成り立つのです。国際社会における日本の地位が低いのはこのプロセスを破壊したからです。憲法が想定する本来の民主主義を再構築するために、地道にやらなければならないことがたくさんあります。

## 会場アクセス

○ JRをご利用の場合：JR「札幌駅」下車、徒歩10分

○ 地下鉄をご利用の場合：南北線・東豊線「さっぽろ駅」下車、徒歩15分

南北線「北12条駅」下車、徒歩10分

※当施設には駐車場がございません。最寄りの公共交通機関のご利用をお願いいたします。



北海道大学  
学术交流会館  
札幌市北区北8条西5丁目

## < 協賛 >

一般社団法人労音・札幌音鑑／NPO 法人北海道地域・自治体問題研究所

子どもと教育・文化 道民の会／札幌映画サークル／札幌民主文学会／シネマー馬力

自由法曹団北海道支部／全国大学高専教職員組合北海道地区協議会／日朝協会北海道支部連合会

日本科学者会議北海道支部／認定 NPO 法人北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

北海道アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会／北海道合唱団

北海道教育大学と地域の未来を考える会／北海道キリスト者平和の会／北海道高等教育研究所

北海道ジェンダー研究会／北海道女性研究者の会有志／北海道宗教者平和協議会

北海道私立大学教職員組合連合／北海道平和婦人会（五十音順）